

学校概要

創立	6周年	学校長	吉原 昌子	副校長	千本智久(准)・羽山康和・田中良樹	学期	2	学期制	児童・生徒数	441・161人
学級数 一般級: 14・6 個別支援級: 2・2						主な関係校: 釜利谷西小学校・西金沢中学校				

学校教育目標

「世界を見つめ、共に生きる中で、自らの生き方を創り出す力を育てます」  
 に 人間愛豊かな心をはぐくみます(徳・公)→「人間愛」  
 し 自主・自立の力を高めます(知・体・公)→「自主・自立」  
 か 考える力を伸ばします(知・開)→「考える力」  
 な 仲間づくりや地域社会へのかかわりを大切にします(徳・公・開)→「なかま・まち」

学校の特徴

自然環境豊かな金沢の丘陵地にある釜利谷西小学校、西金沢中学校の1中1小から平成22年度に開校した小中一貫校である。平成29年4月には、横浜で初となる施設一体化の小中学校として新たなスタートをきることになっている。児童生徒は穏やかで、落ち着いた生活の様子である。学習に対して大変意欲的に取り組み、高い能力を示しながら着実に成果を上げてきている。英語力は検定結果からも、高い水準を発揮している。また、長い期間実施しているオーストラリアや、横浜山手中華学校との交流等を通して、異文化交流・理解を深めている。保護者、地域は教育についての関心が高く、学校の教育活動に対して協力的である。

学校経営中期取組目標

「施設一体化小中一貫校における創造的な教育活動の実践・充実」  
 ・施設一体化後を見据えた、小中教職員の連携・協働による教育計画の構築・実践及び小中合同組織の機能的な遂行による組織力の向上(義務教育学校となった際の教育内容・実践の更なる充実)  
 ・児童生徒の実態を踏まえた外国語活動・英語教育の推進、ESD等の特色ある教育活動の実践と言語活動(伝え合う力の育成)の充実  
 ・異年齢集団での教育活動全般を生かした思いやりの心の醸成、健やかでたくましい体の育成

小中一貫教育の取組

西金沢小中	ブロック	西金沢中学校、釜利谷西小学校
9年間で育てる子ども像	「国際社会で活躍できる力を身に付けた子ども」	
自校の具体的取組	「グローバル化を目指した能力の育成」 ・自分の考え・意見を持ち、相手に伝えるとともに、話をしっかりと聞き、理解することができる力の育成 ・異文化交流、異文化理解を通じた英語力の向上及び豊かな心の醸成 ・小中9年間を見通したカリキュラムの不断の点検・見直し	

重点取組分野	取組目標	具体的取組
<b>確かな学力</b> 担当 学習指導部	・基礎的・基本的内容の確実な定着 ・思考力・判断力・表現力の育成と、主体的な学びによる伝え合う力の向上	・基礎的・基本的事項を確実に定着させるために、ドリル等による繰り返しの学習を実践 ・言葉によって伝え合うこと、相手の言葉を聞いて理解し合うことを、教科等や教育活動全体を通して推進 ・思考力・判断力・表現力を育成・向上させるための主体的・能動的学習の推進
<b>豊かな心</b> 担当 道徳指導部	・道徳を含む教育活動全般を通して、自分や周囲の人を尊重する態度の育成 ・公共心や規範意識、礼儀を大切にする態度の醸成	・学校の教育活動全体を通して行う道徳教育と、各学級の道徳の時間との連携推進 ・児童生徒の発達段階に合わせた体験活動を通して、充実したキャリア教育の推進 ・ユニセフの取組やESD(持続可能な開発のための教育)の充実
<b>健やかな体</b> 担当 体育行事部	・健康・体力について関心をもち、進んでよりよい生活の構築を図る力の育成 ・明るく豊かな生活の実現に向けた取組、改善の方策理解	・健康・体力づくりに興味・関心をもち、自らの生活習慣を改善する実践力を育てる。 ・自分の体力の実態から目標を設定し、その実現に向けて計画的に取り組む姿勢をはぐくむ。 ・運動を楽しみながら仲間づくりを大切にする児童生徒を育成する。
<b>学校運営協議会</b> 担当 連携組織	・施設一体化に向けた学校運営、教育活動に関する基本方針に関する承認 ・特色ある教育活動の推進等についての評価及び改善への指針検討	・学校運営に関する実情の積極的公開及び委員からの意見の集約、必要な改善への取組 ・施設一体化に関する進捗状況説明と、課題の整理・解決に向けての説明 ・特色ある教育の推進にかかる評価及び年間を通じた学校評価
<b>横浜の時間(ESD)</b> 担当 総合指導部	・様々な社会の課題と向き合い、主体的に解決していく力の育成 ・よりよい社会づくりへの参画意識の構築	・国際理解教育、キャリア教育、ESD(持続可能な開発のための教育)、学習教材の開発と指導法の研究 ・学びの場面に必要となる「伝え合う力」を伸ばすための支援。
<b>外国語・英語教育</b> 担当 学習指導部	・英語をツールとして、自分の思いや考えが伝え合える力の育成 ・課題解決を図る取組の推進	・異文化理解を通して、自分の考えを深めたり、間違いを恐れずに自分の思いや考えを表現したりする場面の設定。 ・YICA、外国語科9年間のカリキュラムの実践、点検、改善。
<b>施設一体化義務教育学校</b> 担当 小中一貫校特別部会	・小中教職員の連携・協働による教育計画の構築・実践及び小中合同組織の機能的な遂行による組織力の向上	・よりよい教育活動実践を目指した、全職員のアイデア・協働を基盤とした施設一体化や義務教育学校へ向けての具体的立案及び実施 ・進捗状況に不断の共通理解と振り返り、選択と集中の機能的遂行による組織力の向上 ・主幹教諭のリーダーシップ発揮による組織マネジメント力の充実、向上
<b>人材育成・組織運営</b> 担当 指導部会	・小中合同研修会、教科会・授業研究を通しての授業力向上 ・主幹教諭を中心とした主体的提言の推進による組織の活性化	・若手職員育成のためのメンターチーム編成及び計画的、かつ有効性のある研修の実施 ・小中合同研修会、合同教科会等を通しての授業力向上に向けた意見交換 ・学校課題解決、組織の活性化に向けた主幹教諭を中心とした具体的提言の推奨